

## 名前

tar – GNU 版 tar アーカイブ・ユーティリティ

## 書式

```
tar [-] A --catenate --concatenate | c --create | d --diff --compare | r --append | t --list | u --update
| x --extract --get [ --atime-preserve ] [ -b, --block-size N ] [ -B, --read-full-blocks ] [ -C, --directory
DIR ] [ --checkpoint ] [ -f, --file [HOSTNAME:]F ] [ --force-local ] [ -F, --info-script F --new-
volume-script F ] [ -G, --incremental ] [ -g, --listed-incremental F ] [ -h, --dereference ] [ -i, --ignore-
zeros ] [ -j, --bzip2 ] [ --ignore-failed-read ] [ -k, --keep-old-files ] [ -K, --starting-file F ] [ -l, --one-file-
system ] [ -L, --tape-length N ] [ -m, --modification-time ] [ -M, --multi-volume ] [ -N, --after-date
DATE, --newer DATE ] [ -o, --old-archive, --portability ] [ -O, --to-stdout ] [ -p, --same-permissions,
--preserve-permissions ] [ -P, --absolute-paths ] [ --preserve ] [ -R, --record-number ] [
--remove-files ] [ -s, --same-order, --preserve-order ] [ --same-owner ] [ -S, --sparse ] [ -T, --files-from
F ] [ --null ] [ --totals ] [ -v, --verbose ] [ -V, --label NAME ] [ --version ] [ -w, --interactive,
--confirmation ] [ -W, --verify ] [ --exclude FILE ] [ -X, --exclude-from FILE ] [ -Z, --compress,
--uncompress ] [ -z, --gzip, --ungzip ] [ --use-compress-program PROG ] [ --block-compress ] [
-[-0-7][lmh] ]

filename1 [ filename2, ... filenameN ]
directory1 [ directory2, ... directoryN ]
```

## 説明

このマニュアル・ページではGNU版 **tar**, 即ち *tarfile* として知られているアーカイブ・ファイルにファイルを格納したり抽出する為のアーカイブ・プログラムについて説明する。 *tarfile* はテープドライブ上に作成することも出来る。しかし、 *tarfile* を通常のファイルに書き込む事もよく行なわれている。 **tar** への最初の引数は、オプション **Acdrtux** のいずれかでなくてはならない。この後にはどのオプション機能を指定する事も出来る。 **tar** への最後の引数はアーカイブすべきファイル又はディレクトリ名である。ディレクトリ名を指定した場合は常に、そのサブディレクトリもアーカイブに含められる。

## 機能指定文字

以下のオプションのいずれかを指定しなくてはならない:

**-A, --catenate, --concatenate**

アーカイブに tar ファイルを追加する

**-c, --create**

新しいアーカイブを作成する

**-d, --diff, --compare**

アーカイブとファイル・システムとの差分を取る

**--delete**

アーカイブから削除する(磁気テープ上の *tarfile* に使う事は出来ない)

**-r, --append**

アーカイブの最後にファイルを追加する

**-t, --list**

アーカイブ内容の一覧を表示する

**-u, --update**

アーカイブ内の同名のファイルより新しいものだけを追加する

**-x, --extract, --get**

アーカイブからファイルを抽出する

## その他のオプション

**--atime-preserve**

ダンプしたファイルのアクセス時刻を変えない

- b, --block-size N**  
ブロック・サイズをN\*512 バイトとする (デフォルトは N=20)
- B, --read-full-blocks**  
読み込みと同時にブロック化し直す (4.2BSDのパイプからの読み込み用)
- C, --directory DIR**  
DIRにcdしてから動作を行なう
- checkpoint**  
アーカイブの読み込み中にディレクトリ名を出力する
- f, --file [HOSTNAME:]F**  
Fというアーカイブ・ファイルまたはデバイスを使う(デフォルトは/dev/rmt0)
- force-local**  
アーカイブ・ファイル名にコロンがあってもローカルファイルとして扱う
- F, --info-script F --new-volume-script F**  
各テープの最後でスクリプトFを実行する(-M が假定される)
- G, --incremental**  
旧GNU形式のインクリメンタル・バックアップにより作成/一覧表示/抽出を行なう
- g, --listed-incremental F**  
新GNU形式のインクリメンタル・バックアップにより作成/一覧表示/抽出を行なう
- h, --dereference**  
シンボリック・リンクをダンプしない;リンクが指し示すファイルをダンプする
- i, --ignore-zeros**  
アーカイブ内のゼロのみからなるブロック(通常はEOFを意味する)を無視する
- j, --bzip2**  
.bz2ファイルからの抽出を行なうためにアーカイブをbzip2にフィルターする
- ignore-failed-read**  
読み込み不能なファイルに対して非ゼロ返り値で終了しない
- k, --keep-old-files**  
ファイルが既存の場合は、アーカイブから抽出したファイルで上書きしない
- K, --starting-file F**  
アーカイブ内のファイルFから作業を開始する
- l, --one-file-system**  
ローカルなファイル・システムに限定してアーカイブを作成する
- L, --tape-length N**  
N\*1024バイト書き込んだ後にテープを交換する
- m, --modification-time**  
ファイルの変更時間は抽出しない
- M, --multi-volume**  
マルチ・ボリュームのアーカイブの作成/一覧表示/抽出を行なう
- N, --after-date DATE, --newer DATE**  
DATEより新しいファイルだけを格納する
- o, --old-archive, --portability**  
ANSI形式ではなく、V7形式のアーカイブを書き込む
- O, --to-stdout**  
ファイルを標準出力に書き出す

- p, --same-permissions, --preserve-permissions**  
許可情報を全て抽出する
- P, --absolute-paths**  
ファイル名の先頭の‘/’を取り除かない
- preserve**  
-p -s と同様
- R, --record-number**  
メッセージとともにアーカイブ内でのレコード数を出力する
- remove-files**  
アーカイブに追加した後にファイルを削除する
- s, --same-order, --preserve-order**  
アーカイブと一致させるために、抽出するファイルの名前をソートする
- same-owner**  
アーカイブ内のファイルのものと同一所有属性でファイルを抽出する
- S, --sparse**  
疎らなファイルを効率的に処理する
- T, --files-from F**  
抽出又は作成するファイルの名前をファイルFから読み込む
- null**  
nullで終わる名前を-Tで読み込み、-Cを無効にする
- totals**  
--createで書き込まれた全バイト数を出力する
- v, --verbose**  
処理したファイルの一覧を詳しく出力する
- V, --label NAME**  
ボリューム名がNAMEというアーカイブを作成する
- version**  
tarプログラムのバージョン番号を出力する
- w, --interactive, --confirmation**  
すべての動作に対して確認を求める
- W, --verify**  
アーカイブの書き込み後に照合を試みる
- exclude FILE**  
ファイルFILEを除外する
- X, --exclude-from FILE**  
FILEに記載されているファイルを除外する
- Z, --compress, --uncompress**  
アーカイブをcompressにフィルターする
- z, --gzip, --ungzip**  
アーカイブをgzipにフィルターする
- use-compress-program PROG**  
アーカイブをPROGにフィルターする (PROGは-dオプションを解するものでなくてはならない)
- block-compress**  
圧縮プログラムの出力をブロック化してテープに書き込む

**-[0-7][lmh]**

ドライブと密度を指定する

翻訳者

山縣 敦(yamagata@jwu.ac.jp)